国際ロータリー第2530地区（旧承認番号 3992）

KORIYAMA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT 2022-2023

Rotary　イマジン ロータリー

郡山ロータリークラブ ウェブサイト
http://k-rc.main.jp/

第28回　2023年2月4日

2022～2023年度　国際ロータリー第2530地区　中央分区

インターシティ・ミーティング

「クラブ奉仕」は基本原理『集い・学び・親睦を深めよう!』

日時　2023年2月4日（土）
会場　郡山ビューホテルアネックス4階「花勝見」

主催　国際ロータリー第2530地区　中央分区
ホストクラブ　郡山ロータリークラブ

ガバナー挨拶

国際ロータリー第2530地区ガバナー
佐藤正道（喜多方RC）

今年度のIMのテーマですが、それぞれのガバナー補佐さんにテーマを設定して頂きました。「クラブの活性化」ということです。私が公式訪問でクラブを回らせて頂いた折に、コロナ禍で行事などを全て縮小や中止にしてしまうのではなくて、どうすればその行事をやることができ、ロータリーの素晴らしさを伝えることができるかということを考えて頂きたいという話をしました。またあるクラブでは、毎年会員増強と言われることについて、クラブを作り、伝統を築き上げてきた先輩方のためにも、そのクラブのスピリッツを後世に伝えていかなければならない責任が我々にはある。そのためにクラブが維持できるよう会員を確保し、増強していかなければいけない、と話をしました。

ところで、山形は1万人当たりの会員数は全国一多く14.017人ですが、20名以下のクラブ数が全体の40%を超えており、ロータリーを地域に根付かせることはできても、クラブ単体は小規模化しています。ちなみに当地区は12人弱で全国2番目、最低は東京です。そういった中で、この中央分区のある、県中分区が1クラブ当たりの会員数が平均45人を超えて組織率が高く、全国的にも素晴らしいこの地区、分区であると思っております。今日こうしてクラブの活性化についてのお話を頂くということで、非常に楽しみにしています。是非とも有意義な一日になることを御祈念申し上げます。

ガバナー補佐挨拶

中央分区ガバナー補佐
初瀬照夫（郡山RC）

RI2530地区会員数2,227人中465人を有する中央分区の、日本トップクラスの分区内会員数実績は、私たちの先輩たちが長年にわたりその誇りを高めてきた結果です。

私達はロータリーの基本理念と価値声明に精進しロータリーを「活性化」すべきであり、本日のIMを通じて知り合いを広め「奉仕の理念である「優しさ」「思いやり」「気遣い」を身につけ、クラブ奉仕に、職業奉仕に、社会奉仕に、そして国際奉仕に、それぞれの「奉仕の機会」として頂きたいと存じます。

本日のホストクラブである郡山ロータリークラブの皆様に深く感謝を申し上げますとともに、ご参加頂きました中央分区の会員の皆様方の益々のご健勝をご祈念いたします。

ホストクラブ代表 歓迎の言葉
中央分区の皆様、IMにようこそ！

IM実行委員長　鈴木禎夫（郡山RC）

中央分区の皆様をIMにお迎えできたこと、何と幸運な私たち郡山RCでしょう。

このIMは、人を遠ざけ、世界を混乱に陥れた新型コロナ・ウイルスとの闘いの勝利の第一歩となるミーティングです。

今年のテーマは、「私の考えるクラブ奉仕」です。

Jennifer Jones RI会長は、ロータリーの友1月号にて「会員満足度を左右する最も大きな要因はクラブでの体験だ」と述べています。

クラブ奉仕の意義は、「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」という、ロータリーの目的の第1に示されています。ロータリーにおける様々な奉仕の実践と対話を通して、「クラブ奉仕」の大切さにいち早く気づき、IMのテーマとされた初瀬照夫ガバナー補佐に敬意を表します。

私たち郡山RCは、対面で行うことのできる意義深い今回のIMのホストとして奉仕できることに心から感謝し、コロナ禍にあっても人を遠ざけず、積極的に会員同士が意見を交換することで、今まで以上に絆を深く強くすることができると思います。

感謝を胸に…中央分区の同志の皆様、IMにようこそ!

フォーラム総括

パストガバナー　石黒秀司（郡山RC）

今回の各クラブの発表を拝見しますと、それぞれのクラブが設立時の精神を尊重しながら、良い事業を展開されていると本当に感心を致しました。ただ、クラブでやる奉仕とクラブ奉仕がごっちゃになり、焦点がぼけてしまった気がします。

クラブ奉仕とは一体何か?ということで、クラブ奉仕のキーワードは、「活気あるクラブ作り」、「クラブ機能の充実」、また「会員の満足度の向上」となってくると思います。具体的には個々のクラブで良く議論をして頂きたいと思います。

私の年度は、コロナ蔓延により全国で1,800人の会員が減りました。そんな中、我々 2530地区は大震災の影響や風評被害、そして台風19号の水害があり、これだけ外的環境が一番全国で厳しい中、全国34地区の中で会員が増えた2つの中の1つです。トヨタイムズのCMの中で、豊田社長が「今すぐ出来ることを今やる」とおっしゃいました。

この言葉をロータリーに置き換えると、新会員は新会員らしく出席をすぐ出すということもやれることですし、そして仲間同志が一緒に出ようよと誘うこともできます。そしてベテラン会員の方は、新会員に優しい言葉をかけるということもあると思います。そうするとこんな先輩方とお話ができるんだと言う様な話も出てきます。そしてクラブリーダーは、会員の皆様方のクラブに対する思いを高めていくというような雰囲気づくりをする。是非それぞれがやるべきこと、出来ることをすぐやりましょうよということで、一歩踏み出して頂ければと思います。

中央分区はこの2530地区を引っ張って行かなければいけない地区だと思います。所属の喜び、所属の矜持を持ちながらしっかりと取り組んで参りたいと思います。大変に素晴らしい発表で楽しい時間を過ごしました。お疲れ様でした。

総評

国際ロータリー第2530地区ガバナー
佐藤正道(喜多方RC)

初瀬ガバナー補佐の基調講演、もっと多くの時間ご講演頂きたかったと思いました。各クラブの発表ですが、クラブの奉仕事業の報告もあり、非常に多様性に富んだ発表だと感じました。その中で、奉仕活動を地区にてHPに載せるとありました。是非皆様のデーターを公共イメージ・IT委員会の町田委員長へ提出して頂きますと、地区としての全体のHPへ掲載させて頂きますのでご提出を宜しくお願いします。それから「ロータリーに入っている意味は?」というお話や、「会員が少ないから費用負担や役割分担が大変だ」というお話がありました。会員が少なくても、「本当にロータリーを楽しんでみよう!」とか「また会長が回ってきた、今度は何をやろうかな?」という様なウキウキした気持ちでクラブ運営に携わることができるとすれば、それは素晴らしいことではないのかなと思います。郡山南の遠藤委員長がおっしゃいました。「楽しくなければロータリーじゃない」と。ロータリーの中にいかに楽しみを得ることができるか。たった1人の滝根RCは、子ども達を50～60人呼んだプロジェクト事業をやっています。そのプログラムを修了した学生さん達が全部スタッフとして手伝います。それで参加した学生さんはみんな喜んでいます。ロータリアンも楽しい充実した時を過ごしたと思います。ですからクラブ運営、奉仕事業ともロータリーがいかに楽しむことができるか、これが必要なのかなと今回改めて感じさせて頂きました。私の所属している喜多方RCでは67年目にして女性会員が2名入りました。以前は、ロータリーには女性は入れないと思われていました。理解して頂くのに2年、大変苦労しました。私達がクラブに対して制約をつけていると、他から疎遠になったり、異質だねと感じられてしまいます。私達が胸襟を開いて、ともに楽しくロータリー活動ができる環境づくり、これに是非今後も努力して頂きたいと思います。

次期IMホストクラブ会長挨拶

郡山西ロータリークラブ会長
森尾和衛(郡山西RC)

次年度は郡山西RCが担当となります。来年のIMは2月17日㈯、ここビューホテルアネックスで開催します。西RC全員で今日に負けないように一生懸命目指して準備しますので、楽しみにして頂いて、来年も参加頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

懇親会開会のことば

中央分区幹事　幕田宙晃(郡山RC)

おかげさまをもちまして本日のIM、新会員セミナーから始まり、式典、そしてフォーラムと半分を終了させて頂きました。分区幹事としてはちょっとホッとしたところです。そしていよいよ懇親会です。せっかくの機会ですので大いに盛り上がっていきたいと思いますので、最後の最後までどうぞ宜しくお願い致します。只今より国際ロータリー 2530地区中央分区インターシティ・ミーティング懇親会の部を開会致します。

ホストクラブ会長挨拶

ホストクラブ会長　佐藤尚宏(郡山RC)

中央分区インターシティ・ミーティングにかくも大勢の会員の皆様がご参集頂いたことを大変嬉しく思っております。今回の中央分区のIMのテーマは、「クラブ奉仕は基本原理、集い、学び、親睦を図ろう」です。本日は200名を超える各クラブ会員の皆様が集まりました。学びでは、素晴らしいクラブ奉仕の話を聞かせて頂きました。そしていよいよ親睦です。テーブルには色んなロータリーの方が座っておられます。クラブの枠を超えて楽しいひとときを過ごして頂きたいと思います。久しぶりに大変多くの会員にお集まりいただき、感慨深いものがあります。本日は誠にありがとうございました。

乾杯

IM実行委員会顧問　新城義雄(郡山RC)

今日は奉仕について学びました。世界の人々が奉仕の心を常に持てば、安定した本当に良い世の中になるのではないかと考えております。それでは乾杯を致します。ロータリーの永遠の世界を祈念して乾杯致します。乾杯。

懇親会

会報第28号(通算3405号)2023.2.16発行 / 編集責任者:橋本 勝　編集:クラブ会報委員会　委員長 矢部 浩樹
副委員長 石井 祐一／委員 青木 誠・伊藤 清郷・大山 勇起